

おにぎりはなぜ元気になるのだろう

都城市私立祝吉小学校 4年 後田 光輝

「今日のこうきのおにぎりはなに？」

週末の野球のある日、お昼になると、となりにすわった友達が毎回たずねてくる。

ぼくは、たきたてのおにぎりが大好きだ。土曜日、日曜日いつも野球でおにぎりを食べている。それなのに、具がちがうだけで何度食べてもあきない。その上、元気が出る。だから、おにぎりは世界で最高の食べ物だと思う。

みんなを見わたすと、みんなのおにぎりもすごくおいしそうだ。部員が二十二名いるから、おにぎりをひとり三個食べるとすると六十六個のおにぎりがみんなのいぶくろに入る。そして、元気をくれる。午前中、試合や練習でクタクタにつかれています、おにぎりを食べると「お昼からもがんばるぞ」と思う気持ちになれる。

だから、ぼくはおにぎりのことを「元気玉」ってよんでいる。たぶん、お米には、元気のもとがいっぱい入っていて、それを丸くしたり、三角にすると、パワーがぎょうしゅくされて「元気玉」になるんじゃないかと思う。

もし、お米がなかったらどうなっていただろう。主食が米ではなく、小麦だったら、ぼくは野球の昼食にパンを食べていたのかな。そう思う

と、あきてくると思うし、今みたいに元気が出ないのではないかと思う。

お米についてきょう味が出たので調べてみると、日本では二千五百年前の田んぼが発見されたそう。おにぎりはやよい時代からたべられていたらしい。

やっぱり、おにぎりはすごい。昔から食べられていたんだなとぼくは調べて見て、おどろいた。

世界中には、その土地に合ったいろいろな主食があるけど、ぼくは、お米が主食で本当に良かったなあと思う。

コンビニでは、ツナマヨ、サケ、梅干しが人気らしいが、ぼくが好きなおにぎりは、明太子、こんぶ、肉まきおにぎりだ。おにぎりの本も出てるほど、おにぎりはしゅ類が多い。おにぎりは、いろいろな具が入れられているんな味が楽しめる。おにぎりのかのうせいは、む限だと思う。

ぼくは、これからもおにぎりから元気をもらって野球をがんばりたい。